

表11 最近1カ月にスポーツをした回数

	全然やらない	1~3日	4~6日	7~13日	14~20日	21日以上	わからない	平均日数
	35.9%	14.8%	14.2%	9.7%	6.6%	9.5%	9.3%	5.6日
(男女別)								
男性	31	14	14	12	8	12	7	6.6日
女性	41	15	14	8	5	7	10	4.6日

数は五・六日となっています。性・年齢別にみると、男性の方に運動をしている人が多く見られ、ほぼどの年代でも多いが特に六十代以上が九・七日と圧倒的に多く

文化活動は一八%で女性が多い生活にうるおいをもたらす、生きがいや心の豊かさを与えてくれる個性豊かな県民文化の振興のために施設の整備などをはかっていますが、文化活動状況では、現在趣味として文化活動を「している」人は一八%で、女性に多く、特に女性の五十代(三二%)や二十代(二八%)に多くみられました。活動の種類を男女別にみると、男性では音楽・古典的芸能、女性では生活文化(茶道・華道など)・音楽・演劇舞踊の順となりました。なお、最近一年間の催し物鑑賞回数を聞いたところ、鑑賞した人は映画が二一%で最も多く、次いで「音楽」(二二%)、「舞踊・演劇」などの舞台芸能(九%)となりました。

県政への要望
生活環境の整備がトップ
県に対してとくに力を入れてほ

個性豊かな県民文化の創造

みられました。女性の場合、二十代(六・四日)と六十代以上(六・二日)に多くみられました。(表一十一)



想されます。県では、県政モニター制度や県政地域懇談会等で、県民の皆さんの県政に対するご意見やご要望をお聞きし、又、新聞・テレビ等で広報も行っておりますが、これからは真に豊かで住みよい郷土を築いていくために、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

表12 県政への要望

項目	今57年8月	前55年10月	前回順位
① 住宅・公園・緑地・上下水道など生活環境を整備する	31.6%	(34.5)%	①
② 母子・老人対策など社会福祉に力を入れる	30.7	(28.9)	③
③ 県民の健康づくりを推進し、医療保健事業を充実する	28.2	(31.6)	②
④ 青少年の健全育成をはかる	27.8	(26.8)	④
⑤ 犯罪防止などに力を入れる	21.4	(13.1)	⑪
⑥ 災害や公害をなくすように努める	21.2	(17.0)	⑦
⑦ 企業を誘致し雇用を拡大し・地域開発をはかる	19.6	(16.1)	⑨
⑧ 農林水産業の振興に力を入れる	18.8	(20.1)	⑥
⑨ 道路や交通機関など交通体系の整備をはかる	17.9	(21.1)	⑤
⑩ 学校教育の振興に力を入れる	17.2	(15.8)	⑩



68%の人が、ボランティアへの参加意向を示した。

指し、様々の事業を展開していますが、きめ細かな心のかような福祉を実現するためには、地域住民の相互理解と連帯意識に基づくボランティア活動などによる地域ぐるみの福祉活動も必要です。そこで、県民のボランティア活動への参加意向を聞いたところ、「積極的に参加したい」(二八%)と、「負担にならない程度であれば参加したい」(四八%)という人を合わせて六六%の人が参加の意向を示しました。そして、「参加したいが時間的に余裕がない」という人も二一%みられました。

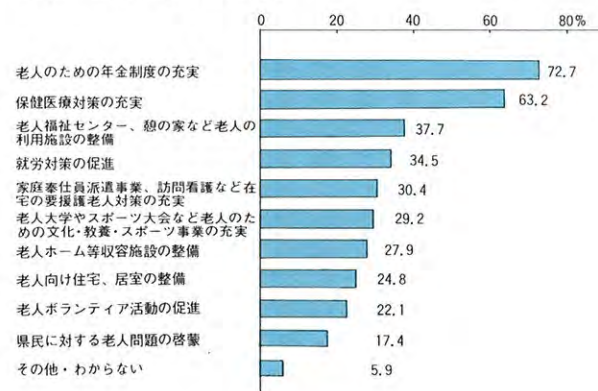
高齢化社会への対応

反面、県下で進められている黄色いハンカチ運動の周知状況では、三四%の人が「運動が行われていることを知らない」としており、特に男性の二十代(四九%)、女性の六十代以上(四八%)に知らないという人が多くみられました。

近年、我が国社会の高齢化は、急速に進行し、その中であって全国平均に十年先行した形で高齢化が進んでいる本県としては、老人福祉対策や高齢者雇用対策などの推進に力を入れています。そこで老後の不安について聞いたところ、「不安なし」が一七%に対し、「不安あり」とする人は七二%で、前回の調査と比べても何らかに不安のある人が大幅に増加しています(前回、不安なし二五%、あり六一%)。

不安のある人の中では、「健康が不安」という人が一番多く、五十代の四八%をピークに山型傾向を示し、四十代以上はいずれも四割

表10 高齢化社会への対策



台を占めています。一方、「生活費が不安」という人は、三十代の三七%を筆頭に二十代でも三二%を占め、むしろ若い年代層に多くみられました。次に社会の高齢化に伴い国や県、市町村に要望されている施策では、「老人のための年金制度の充実」が七三%に及び、次いで「保健医療対策の充実」(六三%)、「老人の利用施設の整備」(三八%)、就労対策の促進(三五%)などがあげら

心身ともにたくましく知性豊かな人づくり

「一カ月にスポーツをしたのは男性六・六日、女性四・六日」県勢発展の基礎は、一人ひとりの県民であり、人づくりは、県勢発展を支える重要な課題です。そこで、学校教育をはじめとして、人づくりのための諸施策を総合的に推進していますが、県民スポーツ活動の振興もその一つです。そこで、最近一カ月間に運動をした日数を聞いたところ、「全然やらない」という人が三六%みられましたが、六割強の人は何らかの運動を行っているという結果が示されました。日数をみると、「一・三日」が一五%で最も多く、平均日



れました。(表一十)